

1 事務事業評価の概要

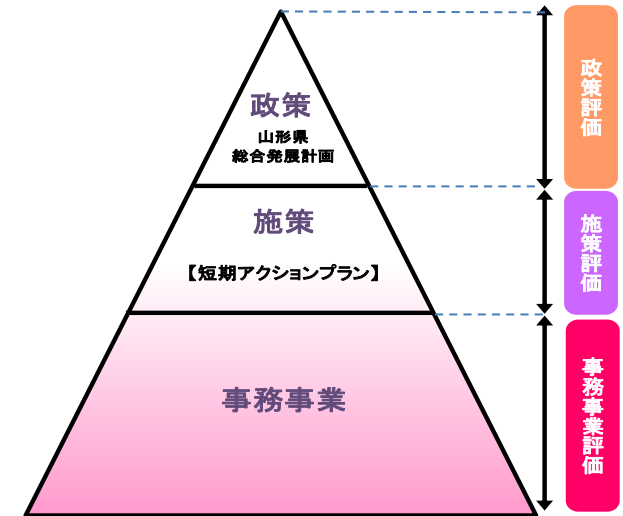
県が実施する事業の内容や成果を県民により分かりやすく示し、県民の期待に応える信頼性の高い県政運営に努めることが求められていることを踏まえ、①事業単位の「事業評価個票」を作成し、②評価・検証を行い、③「事業評価個票」をホームページで公表する。

今年度は「平成 29 年度当初予算の『重点項目推進特別枠』活用事業」の評価を実施している。

2 事業評価対象事業

- ・平成 29 年度当初予算の「重点項目推進特別枠」活用事業 ⇒ H29 実施事業を今年度評価
- ・平成 30 年度当初予算の「県政運営基盤強化特別枠」活用事業 (来年度評価予定)
- ・短期アクションプランの主要事業に対応する主な事業 (来年度評価予定)

3 事業評価の進め方



(X-1)年度	3 月	事業評価個票の作成・公表	個票を作成し、県HPで公表	Plan(計画策定)
X年度		事業実施		Do(実施)
(X+1)年度	5 月 ~ 12 月	内部評価	各部局の「事業評価会議」で評価・検証	Check(検証)
		外部評価	県行政支出点検・行政改革推進委員会及び一般県民 ①内部評価結果をHP公開し、県民意見募集 ②県行政支出点検・行政改革推進委員会での評価・検証	
	10 月 ~ 2 月	評価結果の公表	評価結果を県HPで公表	Action(見直し)
			評価内容を踏まえて次年度予算編成	

4 県行政支出点検・行政改革推進委員会における主な意見

- 成果指標の目標値と実績値が大きくかい離した場合等は、目標設定のあり方を含め、今後の対応をその都度検討することが必要。
- 内部評価は極力「一」（該当なし。現在評価できない。）を無くして評価を試みるべき。各評価項目は可能な限り記載する姿勢であるべき。
- 内部評価は目標数値達成の成否の視点だけでなく、事業効果全体を様々な角度から評価すべき。
- 成果指標と事業内容が、一見して直接結びつかないように見える事業については、その関連性について分かりやすい説明が必要。

平成 29 年度実施事業の評価結果（概要）

事業名	事業概要	県行政支出点検・行政改革推進委員会委員 評価・検証	部局回答
ICT利活用推進事業費 【企画振興部】 H29 予算額：13,606 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワークの推進に係る環境の整備 （在宅勤務、サテライトオフィス、モバイルワーク、Web 会議に必要な ICT 機器の購入） ・県内におけるビッグデータや ICT 利活用の促進 	<p>アウトプットとアウトカムの関係性についてどう捉えているか。アウトカム目標を実現するために、アウトプットがこれだけ必要という流れで目標設定をすべき。</p> <p>テレワークとビッグデータ活用促進の二つの事業があるが、今回の評価にビッグデータ活用促進の評価は含まれているか。</p>	<p>アウトプットの「モバイル PC 導入台数」の積み重ねの上に、アウトカムの「ICT を活用した取組み件数」があるが、その関連性について距離感が大きなものであったので、指標の置き方を改善していきたい。</p> <p>両者を含めて評価しており、ビッグデータについては、県庁の業務での活用検討と共に、市町村・民間を対象にセミナーを開催し、今年度以降の人材育成やモデル事業等による普及拡大の取組みにつなげている。</p>
エネルギー戦略加速化推進事業費 【環境エネルギー部】 H29 予算額：67,183 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・風力発電内陸部導入に向けた適地調査の実施、風況調査の実施 ・洋上風力発電の導入可能性研究、地域産業への波及効果調査 ・中小水力発電導入に向けた県管理砂防堰堤における適地調査 等 	<p>洋上風力発電は積極的に進めてほしい。</p> <p>庄内町では風車 6 基が稼働しており、今後増設する計画もあるが、内陸でも風力発電が実施できる場所はあるか。</p>	<p>風力発電の適地調査を行っており、内陸部でも風況のよい地点はある。</p>
やまがたの山と水魅力向上推進事業費 【環境エネルギー部】 H29 予算額：21,428 千円	<ol style="list-style-type: none"> 1 山岳資源活用と受入態勢の充実 <ol style="list-style-type: none"> ①「やまがた百名山」の発信 ②登山の受入態勢の整備 等 2 名水選定と地域活性化への活用 <ol style="list-style-type: none"> ①「里の名水・やまがた百選」の選定 ②パンフレットの作成 等 	<p>評価が高く素晴らしい事業だと思うが、今後の課題として、山に登る方の中には山菜や貴重な植物を勝手に採取してしまうマナーの悪い方もいるので、マナー向上にも取り組んでほしい。</p>	<p>ご意見を踏まえて取り組みたい。</p>
地域で支える子育て安心事業費 【子育て推進部】 H29 予算額：75,803 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得世帯、多子世帯に対する放課後児童クラブの利用料支援 ・市町村やNPO等による祖父母世代と子ども達との世代間交流を行う場の創設支援 	<p>子育て支援への補助は大切。市町村とも連携し、放課後児童クラブの利用者の声も拾いながら事業の拡充など、検討してほしい。</p>	<p>施設を運営する先生方の声は学童保育所連絡協議会から聞取りしており、市町村や利用者の声も随時聞取りしながら進めている。今後も事業内容を改正しながらきめ細かに対応したい。</p>
妊娠・出産・子育て安心生活応援事業費 【子育て推進部】 H29 予算額：40,235 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんと子育て家庭への応援メッセージを贈呈する市町村への助成 ・産後ケア推進検討会の開催 ・子育て世代包括支援センター設置市町村への助成 等 	<p>「ようこそ赤ちゃん応援メッセージ・ギフト事業」の平成 29 年度実績が県内 35 市町村中、23 市町村だが、なぜ実施しない市町村があるのか。</p>	<p>従前から独自にお祝い金等を贈呈する事業を行ってきた市町村もあり、既存の事業を整理し、県の事業にシフトするのに時間がかかっている等のケースがある。</p>

事業名	事業概要	県行政支出点検・行政改革推進委員会委員 評価・検証	部局回答
福工連携による安心介護 モデル創出事業費 【健康福祉部】 H29 予算額：28,000 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業が介護事業所と連携した福祉用具等開発プロジェクト支援 ・ 介護事業所と県内企業等がICTを活用した介護職員の事務負担を軽減するプロジェクト支援 ・ 介護職員の負担軽減に資する介護ロボット等導入支援 	<p>「期待される成果が得られたか」について「—」としているが、介護職員人数が増えなくとも技術活用した施設でより安心な介護サービスが可能となったのであれば、評価は行うべき。</p> <p>ロボットやICTを活用して職場を改善していくことと、介護職員数を増やしていくことが直接的に結びつかないのではないかと。</p> <p>若い人達が県外流出している状況を考えれば、労働条件が充実すれば、介護分野への就職希望も増えるはず。職場負担軽減だけでなく労働条件改善にも取り組むべきではないかと。</p>	<p>複数年にわたる事業もあり、現時点では評価できないので「—」とした。(単年度事業である)介護ロボット事業については夜勤の心理的負担が減った等、前向きな評価があったので検討したい。</p> <p>介護現場は人手不足で給料が高くない等のイメージから離職率も他の職に比べて高いこともあり、勤務軽減は介護人材確保に効果的と考えて指標設定したところ。</p> <p>介護職員サポートプログラムとして介護職への理解促進、就労支援や離職防止等 総合的に支援している。また、介護職員報酬についても処遇改善加算をとるための支援も行っている。</p>
届けよう山形の魅力プロジェクト事業費 【商工労働部】 H29 予算額：77,257 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「山形ブランド特命大使」による山形の魅力の国内及び海外への発信 ・ 「メイドイン山形」ブランドコンセプトプロモーション活動 ・ 関西圏アンテナショップ整備調査検討 	<p>PR動画の再生回数よりも観た方の反応の方が評価につながると思うので、反応をまとめて評価に反映したら良い。</p> <p>受益者(生産者)はプロモーション活動により利益を確保できているか。</p>	<p>山形のものづくりに興味を持ったという意見や何処に行けば買えるのかといった意見があり、動画の発信効果はあったものと捉えているので検討したい。</p> <p>付加価値拡大や生産者の利益増に向けた取り組みであり、その目標に向けて取り組んでいく。</p>
中小企業スーパーポータルサポ事業費 【商工労働部】 H29 予算額：640,170 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究開発等支援事業(市場調査・研究開発・試作) ・ 設備投資等促進事業(設備投資) ・ コンサルティング活用販路開拓等支援事業(販路開拓・販売拡大) 等 	<p>売り上げだけで効果を確認するのではなく、販管費が減少した、仕入れ費が減った等の売り上げ以外の指標も評価に入れていただければと思う。</p> <p>全県で平均してバランスよく採択がなされているか。地域差は生じてはいないか。</p>	<p>経営改善には色々な要素があるので、ご指摘の視点でも評価していきたい。</p> <p>各総合支庁に地域コーディネーターを配置し、商工会等と連携しながら申請者の掘り起こしを行い、ネットワークを組みながら進めている。</p>

事業名	事業概要	県行政支出点検・行政改革推進委員会委員 評価・検証	部局回答
非正規雇用労働者正社員化・所得向上促進事業費 【商工労働部】 H29 予算額：146,219 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・非正規を正社員転換し厚労省キャリアアップ助成金を受給する場合、40歳未満労働者について企業に奨励金支給 ・非正規の賃金を増額等して厚労省キャリアアップ助成金を受給する場合、企業に奨励金を支給 等 	山形県の人口流出を考えれば、是非とも頑張っ てほしい事業だと思う。	ご意見を踏まえて推進して参りたい。
東京オリンピック・パラリンピック地域活性化推進事業費 【観光文化スポーツ部】 H29 予算額：13,675 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・事前キャンプの誘致 ・スポーツ合宿・大会・イベント等の誘致と「スポーツコミッション」立上げ 等 	本事業は短期アクションプランに掲げる美術館や博物館の入場者数に寄与するのか。 「施設・成果物の活用状況」や「市町村との役割分担」等について「—」（評価該当なし）とはせず、1年間実施した経過もあるので、何らかの評価をすべきでないか。 成果目標が交流人口 250 人に対して実績が 8,500 人とあまりにもかい離がある。どのようにして目標設定したのか。	ホストタウン交流には事前キャンプだけでなく相手国との文化交流活動が含まれており、交流人口拡大の中で各種施設利用者数の増加が見込める。 ホストタウンは市町村で行う事業であり、市町村との役割分担は県として意識して評価すべきところ。また、施設だけでなく冊子などでも何らかの成果物があるならば評価することとしたい。 ホストタウン申請市町村の交流計画を参考に目標を設定した。昨年度は村山市のブルガリア新体操チーム公開演技会等で予想以上の交流が生まれている。
バリアフリー観光推進事業費 【観光文化スポーツ部】 H29 予算額：24,642 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー改修等収益アップを図る宿泊施設をモデル支援 ・観光地公衆トイレ改築・修繕支援 等 	活動指標はバリアフリー整備支援件数としているが、どのような観点から目標を立てたのか。実績が足りなかった要因は何か。 目標値等、計数評価も必要だが、利用者にとって良い内容の事業なので、利用者の声も含めればより良い評価ができるのではないか。	「バリアフリー宿泊施設収益アップモデル事業」は平成 29 年度からの新規事業であるが、関係者にニーズ等の聞き取りをして目標を立てた。宿泊施設の繁忙期と重なり工事が実施できないものがあつた。 改修した旅館からは今まで受け入れが難しかったお客に対しても新たな受け入れができていた状況伺っているところ。ご指摘の視点で利用者の声を聞きながら事業を進めていきたい。

事業名	事業概要	県行政支出点検・行政改革推進委員会委員 評価・検証	部局回答
<p>元気な農業経営による所得1.3倍プロジェクト事業費 【農林水産部】 H29 予算額：102,455 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やまがた農業経営塾の創設、専門家アドバイザーの派遣、経営発展の取組みに対するオーダーメイド型の助成 ・意欲ある小規模稲作農家の取組みに対するオーダーメイド型の助成 	<p>アドバイザー派遣件数について、実績が目標を下回っているが、今後どのように対応していくのか。</p> <hr/> <p>農業は短期間で成果を出すのは困難なところがある中で、小規模稲作農家への支援実績が少なかったことについて、どのように評価しているのか。</p>	<p>初年度事業でもあり、高い目標を設定していたが、元々付き合いのある方に相談したケース等があり実績が下回った。今年度は経営面の専門家だけでなく、商工系の専門家を加えるなど、より幅広く支援している。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・国や県の補助が使えない1ha未満の小規模農家への支援として補助要件を設定したが、要件が限定されていたため利用が伸びなかったところ。 ・実態としては、国・県の補助が使えると見込まれた農家でも使えない場合があったため、今年度は、面積要件を緩和するなど、要件を改正して対応している。
<p>戦略的農産物販路・販売拡大事業費 【農林水産部】 H29 予算額：12,743 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国内地方主要5都市別販路開拓の展開（消費者ニーズのマーケット調査や試行販売の実施） ・国別輸出アクションプランの策定と展開（輸出先のマーケット調査等によるプラン策定とプランに基づく事業展開） 	<p>地方主要5都市の県産青果物の取扱金額を毎年伸ばしていく目標となっているが、どのような根拠に基づいて設定されているか。</p> <hr/> <p>産出量を伸ばすには、市場規模が変わらなければ、産地間の競争でパイを取り合うことになると思われるが、目標の達成は可能なのか。</p>	<p>目標値は、基準年の実績を平成32年度までに1.1倍にしていく目標としており、それに向け毎年の目標を設定している。</p> <hr/> <p>例えば、園芸作物の産出額は全国的に伸びており市場規模も拡大している。市場規模が同じであっても、シェアを伸ばせるよう取り組んでいきたい。</p>
<p>園芸大国やまがた推進事業費 【農林水産部】 H29 予算額：255,335 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模団地形成に向けた合意形成 ・大規模な園芸団地づくりに向けた施設・機械の整備に対する補助 等 	<p>山形の農林水産物の強みは多様性にあり、ブランド化できるコンテンツが豊かにあるので、それを活かせるよう進めてほしい。</p>	<p>ブランド力は、農産物の産出拡大と収益力向上に重要と認識し取り組んでいる。大規模団地化を進め、一定のロットを生産できるようにすることで、市場競争力が高まるので、引き続き力を入れていきたい。</p>

事業名	事業概要	県行政支出点検・行政改革推進委員会委員 評価・検証	部局回答
やまがた森林ノミクス推進事業費 【農林水産部】 H29 予算額：64,149 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再造林に対する補助 ・ 公共・民間施設の木質化に対する補助 ・ 県産木材による積み木の幼稚園への提供等 	<p>山形駅通路や山形空港の木質化されたところを目にするが、ただ木質にするだけではなく、それをどのように活用して県民や県外の方にアピールしていくかを考えていくべき。</p> <p>幼稚園に積み木を提供しているとのことだが、後継者の問題もあるので、木材に興味を持つ人が増えるよう、教育分野での取り組みを広げていくべき。</p> <p>再造林率の平成 32 年度目標が 100%とあるが、達成可能な目標か。</p>	<p>木質化した施設では県産木材の事例集を用いるなどしてPRしていく。また、全国森林ノミクスサミットの開催や、オリパラ関連施設に県産木材を提供するなど、県外にも積極的にPRを行っていく。</p> <p>教育分野では「やまがた木育推進方針」を定めて乳幼児からお年寄りまで全ての世代を対象に進めているが、後継者育成・確保といった観点からも、より積極的に進めていきたい。</p> <p>高い目標ではあるが、今年3月に再造林の手引きを作成し、市町村と一体となって森林所有者へ働きかけを行うなど、森林組合等の関係団体と連携しながら頑張っていきたい。</p>
河川流下能力向上対策事業費 【県土整備部】 H29 予算額：262,089 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川堆積土の掘削、支障木の伐採及び支障木の抜根 ・ 企業・団体等を公募し、河床掘削・支障木伐採を実施 	<p>こうした事業は、県が現地に足を運び、地域の方から情報を得ながら事業を進めていただくと事業への理解が広がる。</p>	<p>8月の戸沢村蔵岡での浸水被害については抜本的な対策が必要と考えており、地区住民、戸沢村、国土交通省と連携してしっかり対応してまいりたい。</p>
地域に誇れる小規模校支援事業費 【教育庁】 H29 予算額：4,247 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデル校の取り組みに対する補助 等 (テーマに沿って、地域住民に魅力があり、実効性・継続性の高い取り組みを行う学校をモデル校に指定し、支援を行う。) 	<p>将来に向けた事業として、取り組みを進めてもらいたい。</p>	<p>引き続き取り組みを進めていく。</p>
オリンピックメダリスト育成事業費 【教育庁】 H29 予算額：127,681 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平昌・東京オリンピックに向けた選手強化活動に対する補助 ・ 次世代メダリストの育成のため、競技団体が行うジュニア期指導体制の確立・強化に対する補助 ・ スポーツ医・科学によるアスリート支援の充実・強化 	<p>将来に向けた事業として、取り組みを進めてもらいたい。</p>	<p>引き続き取り組みを進めていく。</p>